

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	特定地域自然林保全整備	事業開始年度	平成4年度	作成責任者		
担当部局庁	自然環境局	担当課室	自然環境計画課	課長 星野一昭		
会計区分	一般会計	上位政策	生物多様性の保全等の推進に必要な経費			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	世界遺産条約	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>「世界遺産条約」では、自国の領土内に存在する顕著な普遍的価値を有する物件を認定し、世界遺産として認められた価値については将来にわたって保全することが国際的な責務とされている。このため、既登録地の「屋久島」、「白神山地」及び「知床」において、モニタリングのための機材や保全のための標識の整備・更新をおこない、適切な保全管理を実施することを目的としている。</p> <p>また、世界遺産地域では、各地域ごとに気候変動の影響の緩和策や適応策をとることが求められており、遺産地域の保全管理の中心的施設である世界遺産センターのグリーン化を図りCO2の排出を削減するとともに、地域全体でのCO2排出抑制に貢献することを目的とする。</p>					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>我が国の世界自然遺産地域である「屋久島」、「白神山地」及び「知床」において、世界自然遺産地域のモニタリングのための機材や保全のための標識の整備・更新をおこなうとともに、世界遺産センターの補修、省エネ改修、さらには公共交通利用促進のための駐車場整備など周辺整備を行う。</p>					
実施状況	<p>平成21年度は、以下の事業を実施した。</p> <p>「屋久島」、「白神山地」及び「知床」の世界自然遺産地域において、環境計測機材、定点撮影カメラ、利用者数の計測装置など、遺産地域のモニタリングのための機材を設置・補修するとともに、保全のための施設である世界遺産センターの保守をおこなった。また利用者に対して保護地域の範囲や遵守事項などについて伝えるための標識類の整備・更新をおこなった。</p> <p>また、知床世界遺産センターに隣接する敷地に公共交通利用促進のための駐車場を整備するとともに、地域住民による緑化を通じた観察フィールドを整備するため、土地の取得の調整を進めるとともに、測量を実施した。屋久島世界遺産センターでは木製サッシをアルミサッシに交換するなど省エネ化を実施するための設計を実施した。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	13	13	170	13	
	執行額	13	13	68		
	執行率	100.0	100.0	40.0		
	総事業費(執行ベース)	13	13	95		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<p>事業については関係者と綿密な連絡を取り、随時必要な調整を行った上で、適正な執行がなされるよう確認に努めている。また、工事の施工状況等については、現地を担当する地方環境事務所等の担当職員が必要な確認を行っている。</p>				
	見直しの余地	<p>世界自然遺産地域は気象条件の厳しい環境にあることから、保全標識やモニタリング機器に、毎年、風雪による破損等が発生している状況である。そのため、定期的な更新整備や継続的な補修が必要であるが、整備の必要な箇所について十分に現況を把握し、緊急性などの観点から十分な確認をしたうえで、効率的な事業執行となるよう努める。</p>				
予算・監視・所効見率						
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額)					
	19年度	20年度	21年度			
	-	-	35			
	平成21年度補正予算による事業分(157百万円)については、効果的な事業となるよう見直しを進めたうえで行った入札による入札残、土地の取得の調整が遅れたことによる残額が発生した。					

特定地域自然林保全整備

環境省
12百万円

世界自然遺産地域において老朽化した標識
等々地域の保全のために必要な施設の整備
更新をおこなう。

釧路自然環境事務所
5百万円

【一般競争】

A. (株)エコニクス
5百万円

遺産地域のモニタリングのための機材の設置。

東北地方環境事務所
5百万円

【随意契約】

B. RAB開発(株)
2百万円

【随意契約】

C. (株)コトブキ
2百万円

【一般競争】

D. (株)西衡器製作所
1百万円

【少額随意契約】

(株)西衡器製作所
0.6百万円

遺産地域のモニタリングのための定点撮影カメラの設置。

九州地方環境事務所
2百万円

【随意契約】

E. (有)徳永建設
1百万円

【少額随意随契】

(株)時吉組
0.9百万円

世界遺産センターの
保守。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

世界遺産センターのグリーン化によるCO2排出削減

環境省
56百万円

世界遺産センターのグリーン化等により、遺産センター及び遺産地域からのCO2排出の削減をおこなう。

釧路自然環境事務所
54百万円

東北地方環境事務所
1百万円

九州地方環境事務所
1百万円

【土地購入】

F. 斜里町土地開発公社
54百万円

遺産センターに隣接する公共交通利用促進のための駐車場幼稚の取得。

【随意契約】

(株)北日設備設計事務所
0.5百万円

遺産センターへ太陽光パネルを設置するための設計。

【随意契約】

(有)アイデア設計
0.5百万円

世界遺産センターの省エネ回収の設計。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. (株)エコニクス			E. (有)徳永建設		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	特定地域自然林保全整備費	5	施設整備費	特定地域自然林保全整備費	1
計		5	計		1
B. RAB開発(株)			F. 斜里町土地開発公社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	特定地域自然林保全整備費	2	不動産購入費	世界遺産センターのグリーン化整備費	54
計		2	計		54
C. (株)コトブキ			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	特定地域自然林保全整備費	2			
計		2	計		0
D. 西衡器製作所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	特定地域自然林保全整備費	1			
計		1	計		0